



つくば市立栄小学校

# さかえ小 ニュースレター

Future Starts Here 栄小！ ～未来はここから～

No.2

R8.4.17

〔児童数〕 235 名

学校教育目標: 認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成

## 新たな出会い ～1年生を迎える会～

17日(金)、1年生を迎える会が行われました。会では、2年生からアサガオの種が、3年生からはメダルがそれぞれプレゼントされました。入場時には緊張感のあった1年生も、笑顔がいっぱいになりました。その後の縦割り班活動では、自己紹介をしたり、グループ対話をしたりしながら、楽しい時間を過ごしました。これから始まる様々な活動が楽しみです。



## 万が一の事態に備えて～避難経路確認～

13日(月)～17日(金)は避難経路の確認期間でした。各学級で教室から避難先の校庭まで、安全確認をしながら経路を確認しました。また、災害発生時に特別教室にいたら、休み時間だったらと、別のケースについても考える機会としました。万が一の事態に備えた準備を繰り返していきます。



## 関わり合う楽しさ実感！ ～楽しくグループワーク～

15日(水)、体育館から子供たちの元気な声が聞こえてきました。そこでは、4年生が楽しくグループワークに取り組んでいました。年度初めのこの時期、楽しく関わり合いながら、自分のことを伝えたり、仲間を知ったりすることは、今後の学習や学校生活を充実したものにするために必要不可欠です。グループワーク終了後には、「もう一回やろうよ!」、「グループを変えてやってみよう!」と関わり合いの楽しさを実感していました。いつも元気な4年生の絆がより深まったようです。



## 人間関係に良い連鎖を ～あいさつの力～

あいさつは、とてもシンプルですが、人間関係を築くうえで大きな力をもっています。日常の中で当たり前と感じがちですが、その大切さは意外と深いものです。まず、あいさつは「相手の存在を認めるサイン」です。朝の「おはよう」や昼の「こんにちは」、帰りの「さようなら」は、「あなたを見ていますよ」「大切に思っていますよ」という無言のメッセージになります。これだけで、相手に安心感や信頼感を与えることができます。

また、あいさつは人間関係の「入口」でもあります。会話が苦手な人でも、あいさつからなら自然にコミュニケーションを始められます。逆に、あいさつがないと距離ができてしまい、誤解や冷たい印象につながることもあります。

さらに、あいさつには自分自身の心を整える効果もあります。元気にあいさつをすると、気持ちが前向きになり、その日一日のスタートが良くなります。周りの雰囲気も明るくなり、学習する上でもプラスとなる良い連鎖が生まれます。学校でも家庭でも地域でも、「おはようございます」、「こんにちは」、「さようなら」の一言から、良い連鎖を築いていきたいです。